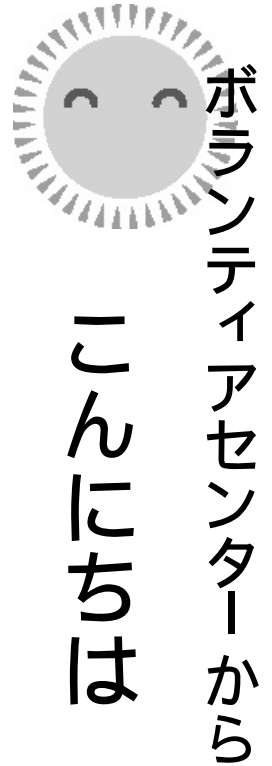




貴重な資料なので作業も慎重に

ボランティアセンターでは、町歴史民俗資料館に保管してある民具等の整理をするボランティアを募集し、十二月から作業に取りかかりました。町の歴史を学んだり昔の民具などに触れることで、もっと町のことを知ってほしいと中学生、高校生たちにも呼びかけたところ十二人の参加がありました。

町歴史民俗資料館の整理が始まる



ボランティアセンターから

こんにちは



中学生も大人と一緒に資料整理に参加

十二月は、町歴史研修会の川上さんや一般のボランティアの人たちと一緒に収蔵庫の整理と館内の民具を分類して保管場所に運んだり、床もていねいに雑きんがけをしたりしました。
また、一月も引き続き作業をし、二十一日には、根雨地区婦人会の皆さんも参加され、隅々までふき掃除などしていただきました。今後も活動者を募集しています。

12月 ボランティア活動状況

依頼件数 11件
活動件数 9件
活動人数 84人(町外24人)
引越手伝い 歴史資料館整理
可燃粗大ゴミ処理 雪かき

中学生の感想から

館内の民具を二階から一階に運び、何回も階段を上り降りして普段使わない筋肉が、筋肉痛になりそうに疲れました。床にたまったほこりは、一度には取れなく、掃除機がゴミを吸い込む音の大きさに驚きました。掃除してきれいになりました。(Y)

2月の高齢者プレゼント企画 参加者募集

大山おこわと手作りカード
2月8日(土)
12時30分～
ボランティアセンター集合



えと 干支 今年は無年

羊が家畜化されたのは今から八千年以上も昔といわれています。馬が家畜化されたのが五千年前ですから、羊と人間との付き合いはかなり長いことになります。日本には、西暦五百九十九年、推古天皇の時代に、百済から二頭の羊が贈られたと、日本書紀に記されています。

現在では、北海道などを中心に一万一千頭あまり飼育されています。羊には「おとなしい」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりも私たちが実感できるのは、ウールのセーターなどの「羊製品」です。羊からは、衣・食・住に関する様々なものが作られています。羊毛は衣類や寝具に、毛脂はせっけんや化粧品に、肉は様々な肉料理に、皮はバッグや敷物に、腸はテニスラケットのガットに、乳はヨーグルトなどの乳製品に、といった具合です。十二支の中では比較的なじみの薄い羊でも、私たちの身の回りにはたくさん「羊」がいます。

現在では、北海道などを中心に一万一千頭あまり飼育されています。羊には「おとなしい」「群れになる」などのイメージがありますが、何よりも私たちが実感できるのは、ウールのセーターなどの「羊製品」です。羊からは、衣・食・住に関する様々なものが作られています。羊毛は衣類や寝具に、毛脂はせっけんや化粧品に、肉は様々な肉料理に、皮はバッグや敷物に、腸はテニスラケットのガットに、乳はヨーグルトなどの乳製品に、といった具合です。十二支の中では比較的なじみの薄い羊でも、私たちの身の回りにはたくさん「羊」がいます。